

# ファンドレイジング実践プログラム

チャレンジ団体向け募集要項

2024年度

## 戦略的ファンドレイジング実践の第一歩

こんな団体に  
オススメ

ファンドレイジングの実践や戦略策定に関心はあるが進め方に迷っている団体  
自分たちだけでは戦略が作れないので専門家の手を借りたい団体  
ファンドレイジングにおける外部人材の登用を検討している団体

# ファンドレイジング実践プログラムの背景・目的

## ファンドレイザー

ファンドレイザー資格を取得したが  
実務経験を積む機会がない

ファンドレイジングを実践してみたいが  
いきなり1人で実践するのが不安

## 団体・組織

ファンドレイジングを実践したいが  
何から取り組んで良いのかわからない

知識や経験がある外部人材を検討したいが  
どこに依頼をしたら良いかわからない



有資格ファンドレイザー

ファンドレイジング支援

チャレンジ団体

最初の成功体験をつかみ取る

メンタリング、研修  
マッチング機会

有資格ファンドレイザーとの  
マッチング機会



# 期待される成果

## 組織的 成果

ファンドレイジングにおける最初の成功体験が組織に蓄積され、組織全体で継続的にファンドレイジングを推進する第一歩となる

ファンドレイジングを実践するための仕組みや分析フレームワーク等の成果物が手元に残ることで、プログラム終了後に活用できる

## 事業的 成果

日頃の活動とファンドレイジングの連動性が生まれ、双方の相乗的發展に向けたきっかけを作り出す

## 財源的 成果

目標金額100万円以上を目安としたファンドレイジング施策を行い、達成に向けたアクションを展開する（もしくはマンスリー寄付者や会員等の継続支援の獲得等）



## 前年度チャレンジ団体の声

- ファンドレイジングに関する考えを一から教えて頂きました。今まで助成金がある中で事業をしていた事もありファンドレイジングに対する意識が組織として高くなかった所で、「寄付」をお願いしていくという事すら初めての試みでした。12月に行った寄付キャンペーンでは50万円を超える寄付を獲得できた事は資金として得た物とはなりませんが、金額以上に寄付をして頂ける仕組みを経験できた事が大きな変化だったと感じております。
- 組織全体として、ファンドレイジングに取り組むためのマインドが醸成されつつあることはとても大きいと考えています。具体的には、12月に始めた認定NPO申請の為に「寄付者200人以上」という目標を達成できる見込みが立ちました。
- やりとりはメッセージでクイックに、資料の共有はGoogleドライブで、団体が利用しやすい方法を選択して下さったのでありがたかったです。また、団体のカルチャーや言葉の使い方を理解して対応して下さったのがありがたかったです。早い段階で現地訪問をして下さり、ヒアリングや分析において必要なことを一緒に行なってくれました。



# フォローアップ体制① 伴走支援ファンドレイザー専門課程(オンデマンド)

初めて外部のファンドレイザーを登用するチャレンジ団体の皆様にとっても、ご不安や分からないことが多々あるかと思えます。

非営利組織のファンドレイジングに寄り添い、伴走する「伴走支援型ファンドレイジング」のオンデマンド講座を、チャレンジ団体・ファンドレイザーの皆様は無償提供します(期間限定)。

ファンドレイザーとは何なのか、どのように関わってもらうのか、共通イメージや共通言語を持つことで、プロジェクトの成果が加速します。

## [前編]

1. 伴走支援型ファンドレイジングとは何か
2. 伴走支援型ファンドレイジングの進め方・使い方

## [後編]

3. 伴走支援型ファンドレイジングの基礎スキル
4. 伴走支援型ファンドレイジングの進む未来

※無償提供されるのは基礎編のみです(応用編に参加される場合は有償となります)。



## 【伴走支援ファンドレイザー専門課程】

非営利組織のファンドレイジングに寄り添い、伴走する「伴走支援型」のファンドレイジングについて、伴走支援とは何か、伴走支援者としての心構えや考え方を学びます。

応用編につきましては2回連続講座で開催します。  
2024年9月28日(土) 13:00-17:00  
2024年10月5日(土) 13:00-17:00

## フォローアップ体制② ファンドレイザー向けメンタリングセッション

ファンドレイジングの成果を最大化させるため、参加するファンドレイザーには、毎月1回、実践経験・実践経験が豊富なコンサルタントとのメンタリングの機会があります(各団体1回30分間)。

戦略の方向性や進め方などについて、ファンドレイザーを通して、サポートさせていただきます。

### <メンター>



山元 圭太

日本ファンドレイジング協会  
副代表理事

合同会社喜代七 代表



久保 匠

日本ファンドレイジング協会  
法人連携推進パートナー

ソーシャルセクターパートナー  
すくらむ 代表



鈴木 大悟

日本ファンドレイジング協会  
コンテンツ戦略パートナー

寄付促進研究所 代表



浅井 美絵

フリーランスファンドレイザー



河合 将生

NPO組織基盤強化コンサルタント  
office musubime 代表

## フォローアップ体制③ 全体ワークショップ

プロジェクトの成果を最大化させるため、実践プログラムにエントリーしているチャレンジ団体・ファンドレイザーの全員で、全3回の全体ワークショップを行います(すべてオンライン開催を予定)。

### キックオフMTG

7/16(火)19:00-21:30

プロジェクトがスムーズに開始できるように、目標設定、役割分担、今後の進め方、期待値のすり合わせなど、目線合わせとチームビルディングを目的としたワークショップを行います。

### 中間作戦会議

11月予定

プロジェクトの折り返し地点で、チーム毎に、これまでの取り組みを振り返り・共有し、そこからの学びを抽出します。残り期間の成果を最大化させるため、改めて全員で目線合わせを行います。

### 振り返り会

2025年3月予定

これまでの取り組みを総括します。チャレンジ団体が今後も戦略的なファンドレイジングを実践していくために必要なことをチームで洗い出し、プログラム終了後の展望をイメージします。

# 本プログラムに参加するファンドレイザーの受講研修・資格について

## ファンドレイジング実践プログラム

### 戦略的ファンドレイジング実践の第一歩

実践的・専門的なスキルを身に着けた有資格ファンドレイザーだけが、本プログラムに参加することができます。

#### <参加対象者>

- 認定ファンドレイザー有資格者、伴走支援ファンドレイザーとして認証された方
- 准認定ファンドレイザーで、ファンドレイジング・スクール修了生または過去に認定ファンドレイザー必修研修(2日間)を修了した方
- 35歳以下の准認定ファンドレイザーで、今年度、認定ファンドレイザー必修研修を受講予定の方

のいずれかに当てはまる方

#### 【資格】

認定ファンドレイザー  
[6h+試験]

認定ファンドレイザー  
必修研修 [2days]

戦略策定プロセス

伴走支援ファンドレイザー [10h]

伴走支援者としての心構えや考え方

ファンドレイジング・スクール [60h]

組織と事業を成長させる戦略づくり

※[]内の数字は講義時間の合計になります。  
事前課題・事後課題への取り組み、自主学習の時間等は含みません。

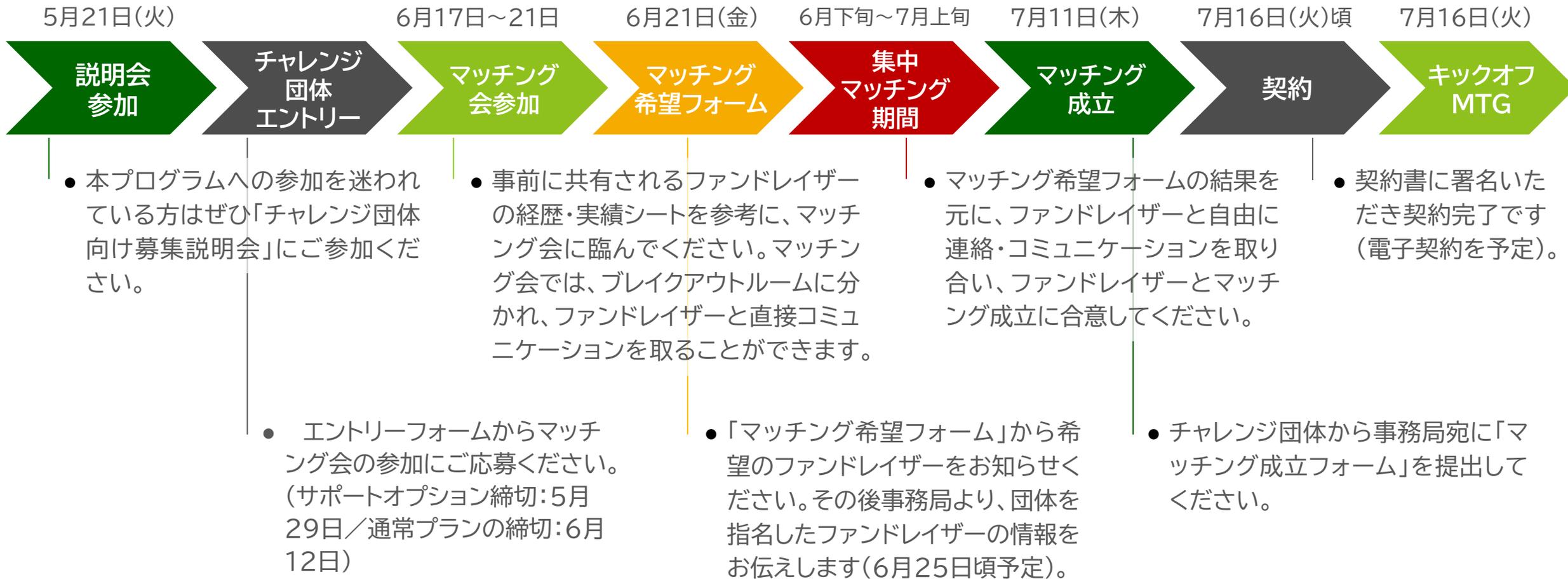
#### 【資格】

准認定ファンドレイザー  
[9h+試験]

准認定ファンドレイザー  
必修研修 [4-6h]

ファンドレイジングの基礎と体系

# 参加までの流れ



# チャレンジ団体向け募集要項

対象 主たる事務所を日本国内に置く組織(法人格を問いません)

期間 2024年7月～2025年3月

参加費 100万円(税込110万円) +サポートオプション:30万円(税込33万円)

- 参加条件
- ・ファンドレイザーとのマッチング、およびファンドレイジング実践において、主体的に関わる意思があること
  - ・組織として、本プログラムに参加することに対する合意を得ていること
  - ・ファンドレイザーと共に、成果にコミットする意思があること
  - ・ファンドレイザーの受け入れ体制の整備、マネジメントを行う意思があること
  - ・7月16日(火)19:00-21:30に開催するキックオフMTGに出席が可能であること
  - ・中間作戦会議(11月予定)・振り返り会(3月予定)に参加すること
  - ・マッチング成立時(サポートプランの場合はエントリー時)に参加費用をご負担いただけること
  - ・【推奨】プロジェクト開始までに「伴走支援型ファンドレイジング専門コース(基礎)前編・後編」(オンデマンド/各1時間)を視聴すること

日本ファンドレイジング協会は、チャレンジ団体とファンドレイザーの「仲人」として、本プログラムを通して両者にマッチングの機会を提供します。最終的にマッチングしたファンドレイザーの成果に対する責任は負うものではありません。

## サポートオプションについて

「ファンドレイジングの経験がないので、どうやって目標設定したら良いのか分からない…」 「団体の優先課題が分からないので、自分たちにぴったりのファンドレイザーとマッチングできるか不安…」 。そのような声にお応えし、**経験豊かなファンドレイジング・コンサルタントが、本プログラムの開始前に、ファンドレイジング計画案の策定をサポート**します。

	通常プラン(15団体程度を想定)	サポートオプション (15団体のうち上限5団体)
マッチング成立までに 当会が提供するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全参加ファンドレイザーの情報(経歴、実績など)</li> <li>・マッチング会への参加(2回まで)</li> <li>・マッチング希望アンケート結果の共有</li> </ul>	左記に追加して <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局による事前ヒアリング(2～3時間×2回／オンライン／6月上旬頃を予定)</li> <li>・本プログラムで取り組むアクションプラン(与件定義)の具体化(手法、役割分担)</li> <li>・上記アクションプランに基づき、貴団体にお勧めのファンドレイザーの情報</li> <li>・マッチング会への参加(+1回、計3回まで)</li> </ul>
参加費	100万円(税込110万円)	+ 30万円(税込33万円)
お支払い時期	マッチング成立後	マッチング希望フォーム提出期限(6月21日まで) ※マッチングの有無に関わらず、参加費のお支払いが必要となります。
エントリー締切	6月12日(水)	5月29日(水) ※上限に達した場合、早めに募集を締め切る可能性があります。

# マッチング会エントリーフォーム

- 募集要項をご確認の上、エントリーフォームからお申し込みください(エントリーフォームは、5月21日以降に公開されます)。
- エントリーフォームからお申し込み後、6月12日(水)までに、団体紹介資料の提出をお願いします。
  - 団体紹介(ビジョン・ミッション、取り組んでいる社会課題、事業概要など)
  - 現在の団体の課題
  - 本プロジェクトへの期待・目標
  - ファンドレイザーへの期待(役割、期待するコミットメント、希望する支援方法など)
  - 担当者・連絡先
- 資料のほか動画でのご紹介も歓迎します。
  - 動画の提出は任意ですが、団体の雰囲気や情熱を伝える為に、ぜひ作成・提出をオススメいたします。
  - Zoomの録画機能を使った簡易的なもので問題ありません。
  - 動画の尺は10分以内でお願いいたします。
- 団体紹介資料・動画ともに、提出先は[fsp@jfra.jp](mailto:fsp@jfra.jp)までお願いいたします。

## よくいただくご質問①

- 参加費の支払いタイミングはいつですか？マッチングしなかった場合はどうなりますか？
  - マッチング成立後です。マッチングしなかった場合は、お支払いは発生いたしません。
- 100万円以上の財源獲得をJFRAが保証してくれるのですか？
  - JFRAは最終的にマッチングしたファンドレイザーの成果に対する責任は負うものではございません。
- 何人のファンドレイザーをアサインしてくれるのですか？
  - 基本的に2名を予定しています。  
また、チャレンジ団体が抱えている課題に合ったファンドレイザーと繋がっていただく為に、チャレンジ団体も、主体的にマッチングに臨んでください。
- JFRA(事務局)はどんなサポートをしてくれるのですか？
  - JFRAは団体とファンドレイザーの「仲人」として、本プログラムを通して両者をマッチングいたします。  
マッチング後も中間戦略会議や振り返り会などの機会を設け、両者の円滑なコミュニケーションを促進いたします。

## よくいただくご質問②

- オフライン(ファンドレイザーに事務所に来てもらう)での支援は可能ですか？
  - チャレンジ団体とファンドレイザーの協議により決定してください。
- 一度活動の様子を見に来て欲しいと思っておりますが、交通費はどちらの負担になりますか？
  - ファンドレイザーにも、チャレンジ団体の活動の様子を見てもらうことは大切なことです。ぜひ早い段階で一度来訪してもらうことを推奨しています。  
チャレンジ団体の活動地が遠方で、交通費が掛かる場合、チャレンジ団体が負担するのか、ファンドレイザーが自身の報酬(業務委託費)の中から工面するのかは、チャレンジ団体とファンドレイザーが協議の上、決定してください(その交渉も実践です)。
- 資金調達の部分を完全にお任せできるプログラムですか？
  - チャレンジ団体にとっても、ファンドレイザーにとっても、ファンドレイジングを実践するプログラムです。もちろんファンドレイザーは自らのスキルや経験を活かして、チャレンジ団体の資金調達に力を尽くしますが、完全にお任せするのではなく、ぜひチャレンジ団体の側からもできることはないか、主体的に取り組んで下さい。

## 【参考】ファンドレイザー向け募集要項

対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>・認定ファンドレイザー、ファンドレイジング・スクール修了生、伴走支援ファンドレイザー</li><li>・認定ファンドレイザー必修研修受講者</li><li>・今年度、認定ファンドレイザー必修研修を受講予定の35歳以下の准認定ファンドレイザー のいずれかに当てはまる方</li></ul>
期間	2024年7月～2025年3月
形態	業務委託契約(業務委託費が支払われます)
参加条件	<ul style="list-style-type: none"><li>・チャレンジ団体とのマッチング、およびファンドレイジング実践において、主体的に関わる意思があること</li><li>・チャレンジ団体のファンドレイジング力向上にコミットし、目標設定～達成に向けて責任を持って行動する意思があること</li><li>・プロジェクト開始までに「伴走支援型ファンドレイジング専門コース(基礎)前編・後編」(オンデマンド/各1時間)を視聴すること</li><li>・<u>7月16日(火)19:00-21:30</u>に開催するキックオフMTGに出席が可能であること</li><li>・プロジェクト始動後、毎月1回行なわれるメンタリングセッション、および中間作戦会議(11月予定)・振り返り会(3月予定)に参加すること</li></ul>

# 運営体制



プログラム・エグゼクティブ  
**山元 圭太**

監修  
メンタリング



プロジェクト・マネージャー  
**久保 匠**

プログラム設計  
メンタリング



プロジェクト・マネージャー  
**鈴木 大悟**

プログラム設計  
団体コミュニケーション  
メンタリング



メンター  
**浅井 美絵氏**

メンタリング



メンター  
**河合 将生氏**

メンタリング

**メンタリング**

## 運営・事務局



事務局  
**岩元 暁子**

ファンドレイザー  
コミュニケーション



事務局  
**田代 美智華**

ファンドレイザー  
コミュニケーション

### 【問合せ】

認定NPO法人 日本ファンドレイジング協会  
ファンドレイジング実践プログラム  
fsp@jfra.jp (担当: 鈴木、久保)

# 日本ファンドレイジング協会

「寄付・社会的投資が進む社会」の実現へをビジョンに掲げ、民間非営利組織のファンドレイジングをはじめ、社会的インパクト評価や社会的インパクト投資の促進に向けた研究・事業開発を通して、日本社会をインパクト志向に変革していくための政策提言や啓発活動に取り組んでいます。

代表	代表理事 鶴尾 雅隆
設立	2009年2月18日
拠点	〒105-0004 東京都港区新橋5-7-12 ひのき屋ビル7F
Webサイト	<a href="https://jfra.jp/">https://jfra.jp/</a>



非営利組織の信頼性向上と社会課題の解決をサポートするための「グッドガバナンス認証マーク」を取得しています。



